

令和5（2023）年度入試から

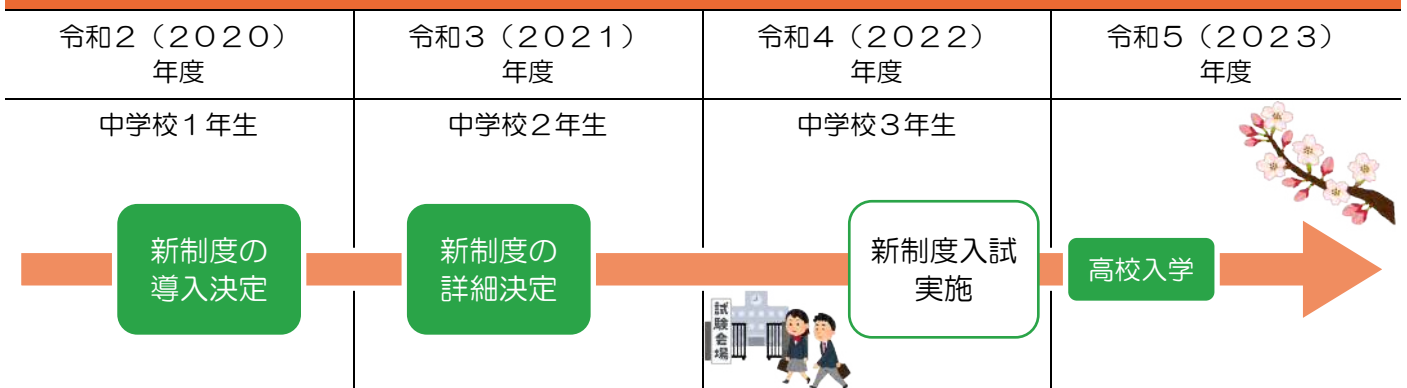
# 公立高校の入試制度が

# 変わります！

愛知県の公立高校では、令和5（2023）年4月に入学する人が受検する入試から、新しい制度となります。

一般選抜で2校に出願できることはこれまでどおりですが、現在の制度から大きく変わるところもあるので、このリーフレットで変更内容を確認し、これからの進路を考える上で役立ててください。

## 新制度入試までのスケジュール



## 変更のポイント

1

### 学力検査

一般選抜の学力検査の回数が2回から1回になります。

※ 2校に出願できることは、これまでどおりです。



2

### 推薦選抜

推薦選抜はこれまでよりも早い時期に実施します。

※ 推薦選抜の具体的な実施時期は、今後検討して決定します。



3

### 面接

一般選抜で面接を実施するかどうかは、高校ごとに決定します。

※ 高校ごとの面接の有無は、事前に公表します。



愛知県教育委員会  
名古屋市教育委員会

詳しくは裏面へ

# 新しい入試制度の概要

## 推薦選抜

これまで一般選抜と同じ日に実施していた推薦選抜は、**一般選抜よりも早い時期に実施**します。推薦選抜の合格者発表は、一般選抜の出願時期よりも前となります。  
 なお、推薦選抜では学力検査を行いません。

## 推薦選抜



## 特色選抜

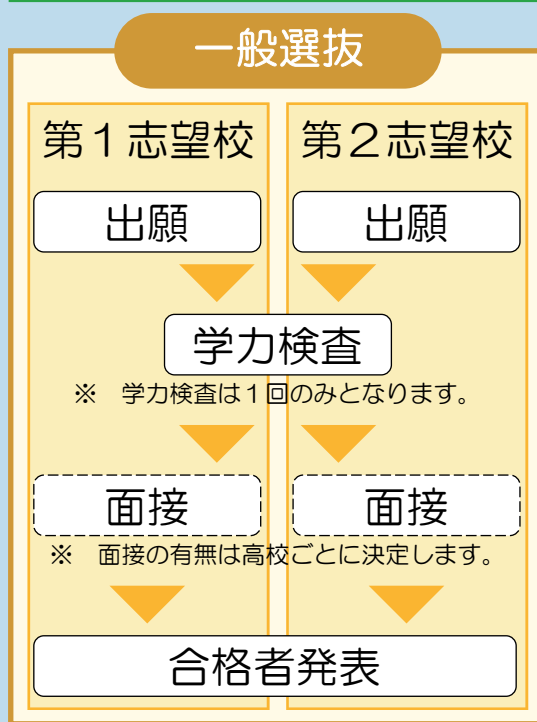
高校や学科の特色を生かした**新しい選抜である「特色選抜」を実施**します。推薦選抜とは異なり、中学校の推薦書は必要ありません。  
**具体的な実施校・学科や実施時期などは、今後検討して決定**します。



## 学力検査

一般選抜では、これまでAグループの高校、Bグループの高校それぞれで実施していた**学力検査が1回**になります。  
 2校に出願した場合は、1回の学力検査の結果を、第1志望校と第2志望校の両方で用いて合否判定を行います。

## 一般選抜



## 外国人生徒等選抜

これまで一般選抜と同じ日に実施していた外国人生徒等選抜は、**一般選抜よりも早い時期に実施**します。外国人生徒等選抜の合格者発表は、一般選抜の出願時期よりも前となります。

## 面接

一般選抜で面接を実施するかどうかは、**高校ごとに決定**します。したがって、高校によっては一般選抜の面接を行わないことがあります。  
 なお、面接の結果を他の高校の合否判定で用いることはありません。

## Q&A よくある質問

Q 学力検査の出題教科に変更はありますか？

A 一般選抜における学力検査の出題教科は、これまでどおり、国語、社会、数学、理科、英語（聞き取り検査を含む）です。

Q 2校に出願できるのはこれまでどおりということですが、学区や群・グループ分けの変更はありますか？

A 普通科高校における尾張・三河の2学区、また、群・グループ分けについては今回は変更せず、これまでどおりです。

Q 推薦選抜の合格者発表を見てから一般選抜に出願することはできますか？

A 新しい入試制度では、推薦選抜や外国人生徒等選抜の合格者発表を一般選抜の出願時期よりも前に行うので、それらの結果を見てから一般選抜に出願することができます。

愛知県教育委員会 高等学校教育課 入試改革グループ

TEL 052-954-6786 (ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/>



愛知県 高校教育

検索